

---

# RPGワールド

ELLE

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

RPGワールド

### 【Nコード】

N1693U

### 【作者名】

ELLE

### 【あらすじ】

俺は、ある日、掃除をしていると、一枚のPCソフトをみつけた。それを、友達と起動させると……

## 不思議なソフト

俺は、今、友達3人と（自分も入れて合計4人）俺の家で遊んでいた。

俺はパソコンを起動させていた。

そして、俺は、一つのソフトを中に入れた。

このソフトを、読み込むまでの間、このソフトについて、少し、説明しよう。

昨日のことだ。

「ブオォー……」

俺は、家の掃除をしていた。すると……

なにも、書かれていない、一枚のpcソフトをみつけた。

それが、今、読み込んでいるソフトだ。

読み込みが終わって、ソフトを起動させると、このソフトが、ゲームだということが分かった。

そして、プレイヤーを4人つくれることが、わかった。

俺たち4人は、プレイヤーの名前を、入力していった。

まず、プレイヤー1に、俺の名前「たくや 斉藤 卓」と入力した。

続いて、友達プレイヤー2に、自分の名前、「まさひこ 山本 雅彦」と入力。

そして、3人目も、プレイヤー3に、自分の名前、「りょうへい 川口 龍平」と入力。

最後に、4人目も、プレイヤー4に、自分の名前、「ふたぎ 二木 真吾」と入力。

そして、俺は設定完了をクリック。

そして、プレイをクリックしたとき、パソコンから、光がでてきて、その光は、俺たちを、つつんでいった。俺は、気を失った。

不思議なソフト（後書き）

アドバイスください。

感想待ってます。

## ナレーター

光はおさまり、目も慣れてきた。

その時、声が聞こえた。

その声はこういった。

「卓さん達、お気づきになられましたね。」

声は、説明書兼ナレーターと書いてある絵に描いたような人だ。

それも、かなり簡単に描かれている。

頭は丸くて……そう！！男子トイレの表示の絵の足を取って、体を少し太くしたような感じだ。

後はそれに手をつけるだけ！！

わかったかな！？

まあ、それはともかく

「なに、こいつ。」

俺たち四人の声ははもっていた。

そいつは口を開いた。

「申し遅れました。私、説明書兼ナレーターの電子プログラムの本<sup>もと</sup>木<sup>ぎ</sup> 藤口<sup>とうぐち</sup>です。本という漢字に木で本木、藤原の藤と口で藤口です。

それを聞いていた俺たち四人で一番頭の良い雅彦が言った。

「俺達の名前が一字ずつ入ってるし！！」

「そうやって私の名前は決まる仕組みになっておりますので！！」  
では、本編にはいりましょう。

ナレーター（後書き）

感想チヨウダーイ

## 説明書を開くための説明

「では、説明書を開きましょう。」

説明書兼ナレーター（以下SN）が言った。

「開くって説明書なんてないし、だいいちここ何処？」

そう言った真吾の言葉に俺たちはうなずいた。

「ここは、”RPGワールド”つまり、RPGの世界です。まず、  
でている、選択表示を見て下さい。」

その表示には、

開く

開かない

と書いてある。

真吾が開くを選択しようとして、タッチするとSNが

「プレイヤー以外選択できません。つまり、卓さんですね。」

それを聞き、全員が卓を見た。

その目からは、「早くしろ」という視線が感じられた。

「つかーた、つかーた（分かった、分かった）やりやあいんだろ  
う。」

皆がうなずいている。

俺は、開くをタッチした。

すると、SNの体が本の形になり、ページが一つめくられた。

そして、俺たちはSNに吸い込まれた。

## 説明書を開くための説明（後書き）

1・2・3部達成だー！！

というわけで、ついに第3部になりました。

しかも総アクセス数も200を上回る207アクセス！！

200+ラッキー7です。

これも皆様のおかげです（<―>）

これからもRPGワールドをよろしくお願いします！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1693u/>

---

RPGワールド

2011年10月9日04時50分発行